



OBAMA NISHIGUMI
HISTORY AREA

小浜西組 新マスタープラン
2018

小浜西組 新マスタープラン策定委員会

シンボルマーク

小浜西組が重要伝統的建造物群保存地区に選定され10年が経ちました。

これを機にシンボルマークの変更を行います。

これまでの「10本のベンガラ格子をデザインしたシンボルマーク」

を基調としつつ、中心部分に西組を照らす太陽と広がる海をイメージし、

イベントなどでも使いやすく、一目で西組と分かるデザインとしました。

今後は西組関連のイベントや印刷物へ積極的に活用して行きます。



OBAMA NISHIGUMI
HISTORY AREA

ベンガラ格子が灯る町 ～なつかしい未来を目指して～

後瀬山と小浜湾との間に町家や寺社が軒を連ねる古い町並み小浜西組。

古くは大陸文化の玄関口として、近年には北前船の寄港地として栄え、海からの恵みや物資が鯖街道を通じて京の都へと送られた歴史を持つ古き良き日本が感じられる港町です。400年前に武田元光の城下町として武家屋敷と町家が混在する町並みが形成されました。京極高次により雲浜の地に城が移された後は商家町として発展し、その文化は各家に残る屋号や地割などでその名残をとどめています。2008年にその町並みや文化が高く評価され、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

かつて賑わいを見せたこの地域も、人口減少の波には逆らえず私たちが幼いころに通った近所の商店は少なくなり空家も目立つようになりました。また、学校へ一緒に通った同級生たちも気が付けば西組から離れて暮らしているのが現状で少し寂しい感は否めません。

しかし、重伝建選定から10年が経ち建物の保存や街路の整備は徐々に進み、「まちは人が住んでこそ」との思いから「ベンガラ格子が灯るまち」を掲げ、様々なイベントや事業に取り組んだ結果、徐々に町並みが見直され訪れる方も増えているように感じます。

海があり、山があり、寺社があり、商家、茶屋がある。これだけ多様な文化を有するのは、日本各地に指定されている重要伝統的建造物群保存地区の中でも、小浜西組だけではないでしょうか。

また、小浜西組には、建物や町並み以上に豊かな「人の繋がり」があります。地域のお地蔵さんを祭る子供たちの夏の風物詩「地蔵盆」 区民が一体となり子供からお年寄りまで真剣に取り組む「放生祭」 家と家が密着しているからこそ生まれるお互いを気遣う心や、他人を思いやれる近所付き合い……

近年は、人の繋がりが希薄になり、近所付き合いを煩わしいと感じている人も多いと思います。しかし、改めてこの土地の歴史や風習、文化、人と人の繋がりなど、長い時間をかけて築き上げてきた「まちの宝」をもう一度見つめ直し、今の時代に合った形でよみがえらせることが出来れば、住む人が誇れる西組らしい「なつかしい未来」を築いていけるはずです。

重伝建地区の選定から10年経った今、次の10年、100年先の未来へ このすばらしい地域と人々の暮らしを紡いでいくために、小浜西組町並み協議会ではこれまでのテーマ「ベンガラ格子が灯るまち」の精神を引き継ぎながら、マスタープランを改定し実行していきます。

「なつかしい未来」を目指すための小浜西組のまちづくり

町家 de ワイワイ！

—商いを通じて町の賑わいを取り戻す—

- ①協議会として町家を所有し、常に人が集う「まちづくり」拠点をつくる
- ②かつて西組に点在した商店を復活させ子どもたちや大人が集う場所を作る
- ③シェアオフィスやチャレンジショップスペースとして町家での開業をサポート
- ④三丁町商店街組合を中心とした事業展開（町家deフェスタなど）
- ⑤縁日の復興を目指して定期的な「町家deマルシェ」を開催
- ⑥西組で開業する際の補助制度の確立
- ⑦空家の情報収集と活用に向けたオーナーとの調整

町家 de ドキドキ！

—一人と人が交流する場所づくり—

- ①ゆるく気軽に参加できる「まちづくり塾」の開設
- ②町家で定期的な音楽・映画イベントの開催
- ③小浜湾と人魚の浜を生かしたまちづくり
- ④旧小浜小学校跡地（後瀬山城史跡）の活用

町家 de ピーヒャラ！

—祭り文化の発展と継承、そして交流—

- ①放生祭を通じて住民交流を促進し、移住者や地区外の住民も交流できる場所を作る
- ②放生祭の国重要無形民俗文化財の選定を目指す

町家 de トントン！

—町家改修の技術をより多くの人と共有することで、改修工事を促進—

- ①快適な町家のライフスタイル（三世代住居対応町家など）の提案
- ②年度末に改修物件の見学会ツアー開催
- ③改修物件コンテスト・写真コンテスト
- ④学生によるDIY町家リノベーションや空き家での生活体験
- ⑤建築学科の大学生に小浜の町家についての研究や、空き家の活用コンペ開催

町家 de スクスク！

—宝物である子どもたちをまちぐるみで育む地域へ—

- ①西組の中心部分に子育て支援施設や自習室を設置
- ②地域で子どもを育てる事業計画（寺子屋の創設など）の策定
- ③自然や寺社を活用して、子どもたちが遊びながら学べる教育事業を展開
- ④小浜市内の小中高生対象に西組での職場体験（建築や鉄工所、カフェなど）や体験学習（荒壁付けのワークショップなど）、出前授業を実施

町家 de ニコニコ！

—安心・安全なまちづくり—

- ①一門一灯の行燈を各戸へ設置・普及
- ②各区での自主防災組織の充実と防災グッズ整備の推進
- ③防火システムの確立、ハザードマップの周知徹底
- ④小浜西組への移住ガイド「暮らしの手引き」の発行

町家 de フムフム！

—地域で暮らす人たちの誇りづくり—

- ①古地図を元に地割が現在とどう違うかまち歩きツアー開催（後瀬山トレッキングなど）
- ②地域をフィールドにしたミステリーツアー（お寺巡りなど）の企画

町家 de モグモグ！

—御食国ならではの食を軸にした地域の盛り上げ—

- ①小浜西組の飲食店によるラリーや食べ歩きツアー
- ②食文化館と連携したイベント開催

町家 de テクテク！

—車が中心ではなく、人を中心とした道へ—

- ①空き地を利用した駐車場の確保と路上駐車禁止・アイドリングストップ運動
- ②一年を通して歩行者の安全を確保するために通過車両の速度抑制（ゾーン30）
- ③ゴミの落ちていない道、海岸を目指す活動（ゴミ拾いイベント開催など）